



MON Nara 通信



Numéro 13

Association Franco-Japonaise de Nara 奈良日仏協会

AOÛT 2022 8月

秋の教養講座2022

講演「フランス語とともに歩んだ道—フランスとベルギーでの生活を中心に—」

10月9日（日）生駒市コミュニティセンター4階401号室にて開催

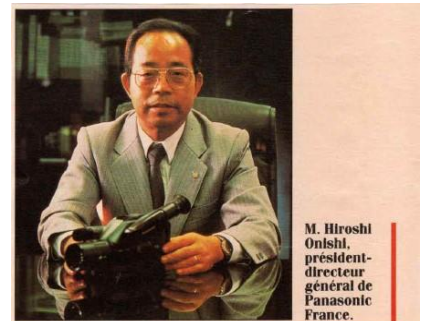
講師：大西弘（奈良日仏協会会員）

今から思えば、特に深い理由もなく大学でフランス語を学ぶ事になったのは運命の悪戯だったのだろうか。フランス語を学んでいなければ、フランスとベルギーで16年間も仕事をする事はなかっただろうと思う。

1960年代は日本企業の海外進出はまだ始まったばかりで外国語の出来る人材は海外進出の先兵として期待されていたせいもあって、入社5年目にしてフランスに出向を命じられ、いきなり現地販売会社設立に奔走させられた。設立から5年間の苦労は筆舌に尽くし難く、華やかな海外駐在員のイメージとは程遠いものであったが、不思議と苦しかったはずのこの時代が今は懐かしのパリに変わっているのはせめてもの救いかも知れない。

1970年代に入って、日本の輸出産業の競争力がつき始めた頃に、フランスから横滑りでベルギーに転勤となり、現地販売会社経営責任者として恵まれた経営環境の中で、公私ともに充実した7年間を過ごした。当時フランス語が話せる日本人経営者は少なかった為か、テレビや雑誌のインタビューも数多く受け、かなり驚いた。この小さな個人的特徴が2度目のフランス時代には更に大きな効果を発揮し、自分も驚くほどメディアへの露出度は高かった。

1986年から始まったバブル最中の1988年、現地販売会社の経営責任者として2度目のフランス赴任。3年間に亘る絶好調の経営も1991年のバブル崩壊と共にあつという間に破綻し、塗炭の苦しみをなめる結果となった。短期間に天国と地獄を同時に味わったような気分である。人には運・不運はつきものであるが、この時の激動の経験が、定年後の自分の生き方を決定づけたと思っている。



1991年の雑誌インタビュー記事より

その後、1993年から2000年までの約6年間の北米での仕事は自分にとっては余禄のようなものだと思っていた。ところが思いの外、アトランタオリンピックのスポンサー事業、大型映像機器、放送機器など全く畑違いの新たな分野の仕事へのチャレンジは実に楽しく、刺激に満ちた素晴らしい経験の連続であった。結果的には、開放的で自由奔放なアメリカ文化はヨーロッパ文化とは違う別の魅力があり、全ての面で心地いい充実した生活を満喫させてもらった。

最後に海外での生活経験が定年後の自分の人生にどのような影響を及ぼしたかについてもお話させて頂きたいと思っています。（大西弘）

★日時：2022年10月9日（日）

★会場：講演会 15:00~17:00（開場 14:30） 生駒市コミュニティセンター 4階401会議室
懇親会 17:30~19:30 イタリアンレストラン「トヨタリノ」

★参加費：講演会 会員 200円、一般 700円 懇親会 会員 3,500円、一般 4,000円

★参加申込：sugitani@kcn.jp TEL090-6322-0672（杉谷） FAX0742-62-1741（三木）

講演会は定員40名（コロナの状況によって変更の可能性あり）、懇親会は先着20名

要予約。いずれも10月5日（水）締め切り。 ◎詳しくは同封のチラシをご覧ください。

2022 年度ガイドクラブ 茶筌工房「竹茗堂 左文」見学会の案内 (9/4)



生駒市高山地区の「竹茗堂 左文」を訪ね、第 24 代堂主の久保左文さんによる作業工程の実演を見学し、高山茶筌の歴史や工程についてのお話をお聞きます。久保左文さんは、2008 年にルーヴル美術館出展、2014 年ジャパンエキスポ参加・製作実演など、日本の伝統文化をフランスに広める日仏文化交流活動に携わってこられました。海外からの見学者も多く、HP には、フランス語版も含めて五ヶ国語(日・英・西・独・仏)のバージョンが整っていますので、この機会にぜひ参照下さい。



第 24 代堂主久保左文さん

- ❖ 集合:9月4日(日)14時 近鉄けいはんな線学研北生駒駅バス停 2番乗り場。
当日、車で行かれる方は14時30分までに竹茗堂 左文へ(駐車場有)。解散16時半頃。
- ❖ 参加費:会員1000円 一般1500円 (お抹茶とお菓子付き、要予約、定員15名)
- ❖ 申込先:Nasai206@gmail.com tel.090-8538-2300 (浅井)
- ❖ 「竹茗堂 左文」HPアドレス:https://chikumeido.com/

第 58 回奈良日仏シネクラブ例会『ラ・ポワント・クールト』(アニエス・ヴァルダ特集②) (10/30)

- ❖ 日時:2022年10月30日(日)14:00~17:00 ❖ 会場:奈良市西部公民館4階第2会議室(予定)
- ❖ プログラム:『ラ・ポワント・クールト』(La pointe courte, 1955年, 80分) ❖ 監督:アニエス・ヴァルダ
- ❖ 参加費:会員200円、一般300円 ❖ 問合わせ:Nasai206@gmail.com tel.090-8538-2300(浅井)
- ❖ アニエス・ヴァルダの長編劇映画デビュー作。南仏セートの漁村ラ・ポワント・クールトの故郷を久しぶりに訪ねた男とパリ出身の妻が、散歩しながら二人の関係を回想する。並行して、村の生活やセートの町の船祭を背景に土地の人々の様々なドラマが展開する。二つの系列の話が交替しながら進行するドキュメンタリー風フィクション。



活動記録 ☆6月10日(金):第5回美術クラブ例会「エコール・ド・パリの画家たち」 ☆7月22日(金):ガイドクラブ「茶話会」 ☆7月31日(日):第57回奈良日仏シネクラブ例会 (Mon Nara10月号に報告記事掲載)

《2022 年度第 3 回理事会報告》…事務局

☆日時:2022年7月21日(木)15:00~16:30。☆場所:野菜ダイニング「菜宴」。☆出席者:三野、浅井、藤村、中辻、高松、喜多、菌田、三木、杉谷。☆議題 1. 2022 年度会費納入額・会員数。2. 前回理事会(5/19)後の活動:(5/28)第150回フランス・アラカルト「NARAFRANCE物語」、(6/10)美術クラブ例会「エコール・ド・パリの画家たち」。3. 今後の行事:(7/22)ガイドクラブ「茶話会」、(7/31)第57回シネクラブ、(9/土、日)ガイドクラブ「生駒市高山の茶筌師工房見学会」、秋の教養講座「フランス語とともに歩んだ道」、今後のフランス・アラカルトの検討。4. Mon Nara、Mon Nara 通信。5. その他:ホームページの変更、大安寺国際縁日(11/3)と三木康子ピアノリサイタル(11/5)への後援ほか。6. 次回理事会:2022年9月15日(木)15:00~16:30「菜宴」。

後記 ☆Mon Nara 通信 8月号をお届けします。コロナ禍で活動が停滞しておりましたが、2年ぶりに「秋の教養講座」、「ガイドクラブ」が開催できる運びとなり、盛り沢山な内容となりました。皆様のご参加をお待ちしております。今回のご案内以外にも続々と企画が進行中です。ご期待ください。☆「秋の教養講座」では、今は夢のようになりつつありますが、日本企業が世界に躍進していた時代に、欧米の最前線で企業戦士として活躍されていた会員の大西さんをゲストにお迎えします。先人も居ず前例もなく、初めてならではのご苦労があったと思います。どんなお話が聞けるか楽しみです。(杉)

- ◆当協会では**会員を募集**しております。お申込み、お問合せは下記事務局まで。
- ◆Mon Nara 誌への投稿、とくに新鮮で多様な話題、直近のフランス情報などを歓迎します。誌面の都合でご相談のうえ表現を変えさせていただくことがあります。Mon Nara 10月号は9月30日が原稿締切日です。
- ◆会員のみなさまで「Mon Nara」(2月、6月、10月発行)、または「Mon Nara 通信」(4月、8月、12月発行)に**チラシ同封を希望される方**は、1)内容がフランスに関わるもの、2)本人または代理人が発送作業に参加、の二つの条件を満たせば同封可能ですので、下記事務局までお問い合わせください。

Mon Nara 通信 2022 年 8 月 numéro 13

奈良日仏協会 Association Franco-Japonaise de Nara

HP : http://www.afjn.jp E-mail : nara.afj@gmail.com FAX : 0742-62-1741

〒630-8226 奈良市小西町 19 マリアテラスビル 2F 野菜ダイニング菜宴[郵便物のみ] 発行責任者:三野博司